

リノベーションまちづくり実践ミーティングについて

近年、地域課題が複雑化しており、様々な立場や考え方を関係者がお互いに理解しあい、自らの問題として捉え、地域住民、不動産オーナー、民間事業者などが一体となって解決策を導き出す必要があります。

人吉TMOでは、鹿屋市や佐賀市で取り組まれている空き家、空き店舗、空き地などの遊休不動産を再生・活用したリノベーションまちづくりを学び、「自分たちのまちは、自分たちでつくる」の実践に向けたまちづくりビジョン(=実践プログラム)づくりをはじめます。

まちづくりビジョンの検討・作成にあたっては、佐賀市をはじめ全国の地方都市でリノベーションまちづくりに携わられている西村浩氏(株式会社ワークヴィジョンズ)を講師に招き、3回の実践ミーティング(ワークショップ)でアドバイスを頂くほか、主催者と参加者での個別検討会を実施してビジョンを完成させます。

実践ミーティングのプログラム

11月18日(月) 18:30-20:30

第1回 実践ミーティング|ガイダンス・ワークショップ

・「リノベーションまちづくり」の実践プロセスを学ぶ

・エリアの設定と地域資源 (まちのお宝) を探すワークショップ

12月10日(火) 18:30-20:30

第2回 実践ミーティング ワークショップ

・まちの課題と地域資源を整理し、将来ビジョンの描く

・エリアのまちづくりコンセプトと実践プログラム案を検討する

2020年

1月24日(金) 18:30-20:30

第3回 実践ミーティング ワークショップ

・実践プログラム(事業計画)とまちづくりビジョンのブラッシュアップ

※各実践ミーティングの間に主催者と参加者のみで個別検討会を実施し、素案の内容を具体化していきます。

主催 | 人吉 TMO・人吉商工会議所

お問い合わせ | 人吉 TMO 人吉市南泉田町 3-3 Tel 0966-22-3101 Fax 0966-24-6509 mail info@hitoyoshi-cci.or.jp

リノベーションまちづくりとは

戦略的に設定した小さなエリアで、空き家等の遊休不動産や公共空間をリノベーション(再生)し、カフェや創業支援施設など、魅力的なコンテンツを新たに創造することで、地域内ビジネスやコミュニティを新たに生み出し、エリアの価値を高めて中心市街地の再生を行う、民間主導による官民協働の公民連携まちづくり手法です。コンパクト・プラス・ネットワークの推進に重大な支障となる都市のスポンジ化への対策として全国各地で成果が出ており、国土交通省も積極的に推進しています。

なぜ今リノベーションまちづくりなのか

人口が増加し、産業が発展していた右肩上がりの時代には、まちにあふれるコンテンツを受け止めるために多くのハコが必要でした。しかし、少子・高齢化による人口減少が続く縮退社会の到来により、現在、まちの中には空き店舗や空き家などの遊休不動産(既存ストック)が増加し、まちの活力が失われています。それらの遊休不動産や公共施設の再生・活用によって、まちに新たな価値を創出するリノベーションまちづくりは、2011 年に北九州市小倉から始まり、まちづくりの新たな成功事例として注目され、全国に広がっています。

リノベーションまちづくりのメリット

- ① スピードが速く、収益性が高い 今あるものを活かし、新しい使い方によってエリアの価値を高めていくため、 計画から実践までのスピードが速く、 実効性が高いのが特徴です。
- ② 民間主導の公民連携による新たな価値の創出 民間発想による公共空間の新たな利活用を行政が支援し、エリアの価値を 高めます。
- ③ 都市・地域経営課題を複合的に解決 地域ストックの空間資源、産業・文化・歴史資源、人的資源を活用して、地域ビジネスや新しい働き方・暮らし 方を創造し、地域を活性化します。
- ④ 補助金に頼らない持続可能なまちづくり 民間自立型の地域ビジネスにより、"稼ぐまちづくり "の実践を推進します。

講師プロフィール

西村 浩

株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役 / オン・ザ・ルーフ株式会社 代表取締役 株式会社リノベリング 取締役 / マチノシゴトバ COTOCO215 代表 1967 年佐賀県生まれ。東京大学工学部土木工学科卒業、東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、1999 年にワークヴィジョンズー級建築士事務所を設立。 土木出身ながら建築の世界で独立し、現在は、都市再生戦略の立案からはじまり、建築・リノベーション・土木分野の企画・設計に加えて、まちづくりのディレクションからコワーキングスペースの運営までを意欲的に実践する。







佐賀市の街なかに位置する呉服元町エリアは、2011 年に空き 地を活用して「わいわい!! コンテナ」を設置。

平日の昼間に地域住民や子どもたちが気軽に集える場所を創出 したことで人が集まるようになり、周辺の空き店舗に次々と新 たな店舗がオープンしたことで、エリアの雰囲気が大きく変 わった。







